

2 各教科・領域の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	・ 社会生活に必要な国語の特質を理解し、適切に使う能力。 ・ 様々な文章を読み、的確に理解する能力。 ・ 自分の考えや感じたことを伝え合う能力。	・ 漢字プリントや小テストにおいて定着を図るとともに、語句の意味調べ、短文づくりを通して使い方について理解させ、語彙力を高める。 ・ 様々な文章を読み深め、感じたことや考えたことを文章として書き留めたり、話し合いの中で言葉にしたりしながら、表現力を養う。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	・ 小学校レベルの基礎的な事項に関しても丁寧に指導する。 ・ 誰もが参加できる発問などを工夫して、授業への参加意欲を高める。	・ 日本固有の地理・歴史や社会制度に対する興味・関心を向けさせるために、諸外国との比較や差異を多く取り入れる。 ・ 外国人生徒が参加できる場を設定するなど、授業への参加意欲を高める工夫が必要である。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
数学	・ 演習問題を多く解くことで、基礎的、基本的な知識・技能の習得を図る。	・ 習熟度別授業を継続し、習熟度に合わせた演習を行う。 ・ 個人の学習状況を把握しながら机間指導を行い、適切なアドバイスをを行う。 ・ 基礎的・基本的な学力の定着を図るため、小テストなどを用いて未習得部分の確認を行う。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	・ 自然の事物・現象に進んで関わりながら知識を深め、観察実験を行って科学的に探究する力。	・ 生徒が進んで取り組みたいと思うような魅力的な観察実験を行う。 ・ つまづきが多い計算、化学反応式等について小テストを繰り返し行い、対応力の強化を図る。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	・ 音楽を形づくっている要素や要素の関わりによって生まれる曲想や雰囲気を感じ取る。 ・ 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え音楽表現に生かす技能を身につける。	・ 音楽の諸要素の基礎基本を繰り返し学習させる。 ・ 要素の働きを知覚し表現に生かすよう、具体的な課題を示し、学習活動を展開させる。 ・ 主体的な学習活動の場(パート練習)を十分に設け生徒が対話的な学習ができるようにする。 ・ タブレットに学習したワークシートや合唱曲の音源をアップ ・ し、主体的な学習を促す。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
美術	・表現方法を工夫し、創造的に表現することができる。 ・主題を生み出し豊かに発想し構想を練ることができる。 ・創造活動の喜びを味わい、主体的に学習に取り組むことができる。	・ワークシートや練習課題で創造的に表現するための技能を高めていく。 ・鑑賞と制作を関連付けて学習を進めていく。ICT機器や参考作品を活用し、学習のねらいを明確にする。 ・机間指導などの際、試行錯誤や工夫改善の様子などを捉えながらアドバイスや指導をしていく。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
保健体育	・スポーツを積極的に行ったり、関わったりしようとする。 ・運動の特性や知識の理解、体力向上を目指して、主体的に活動する。	・運動の特性や効果について、補助教材などを用いて詳しく説明し、興味関心を高めていく。 ・ICT器機を活用して、自分の動きを確認や、見本となる動きのイメージがもてるようにする。 ・単元に応じて、適宜、男女共修で指導を行う。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
技術・家庭	・自らの生活を工夫するために創造する能力を育成する。 ・生活の課題を見出し、課題を解決する・改善する知識や技能を育成する。	・多様な情報を収集する中で、基礎的な技能の繰り返しによって、完成度の高い作品作りに向けた意欲を育てる。 ・実践的な内容を多く取り入れ、工具や機械を効率的で安全に使用できる経験を積み、持続可能な社会の構築に向けて意欲を向上させる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
外国語(英語・国際)	・様々な形式の文章を読み、概要や要点をとらえる能力 ・学んだ知識を活用し表現する能力	・2・3年生に対して、100語程度の文章を継続的に読ませ、英文を読むことに慣れさせる。 ・学期に1度はスピーチやプレゼンテーションなどのパフォーマンステストを実施する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
道徳	・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値について理解し、自己を見つめ、物事を多面的多角的に考え、人間としての生き方について考える資質・能力を育てる。 ・道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度を育てる。	・評価の観点を学期ごとに絞ると同時に具体的な学習内容により重点を絞った指導計画を工夫する。 ・1学期は道徳的価値の理解を深め、2学期はその理解をもとに自己と他者を見つめ、相互理解を深めるための教材を精選する。 ・3学期は自分の生き方について考え、実践意欲を高めていく。校内で実践例と評価方法を共有していく。

特別活動	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・ 学校行事やより良い生活、人間関係を築くための活動を通して、人間としての生き方の自覚を深めさせる。	・ 行事について、実行委員会の生徒を中心に生徒主体の活動の場を多く計画し、互いに競い高め合う学習活動を展開する。 ・ より良い結果を目指し切磋琢磨しながらそのプロセスを大切に重んじる指導を心がける。

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・ 生きる力を育てるために、課題発見能力、問題解決能力、論理的思考力を育成する。	・ 各教科や領域で得た知識を総合的、横断的に活用し応用する力を育てるために、行事から生き方などの進路学習という幅広い範囲で、課題を設定し、さまざまな情報や知識を活用しながら問題を解決する学習活動を展開させる。